



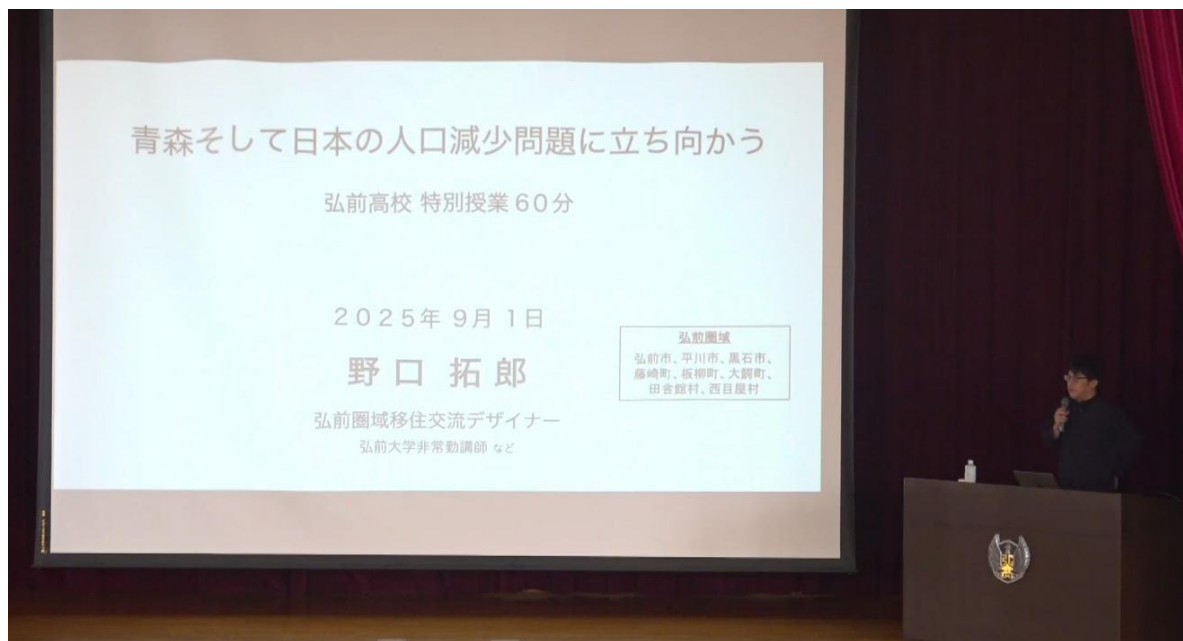
(3) 地域を知るⅡ「地域課題研究(講演)」

【目的】弘前圏域移住交流デザイナーをお招きし、人口減少に係る地域の現状を知り、身近なものとして地域課題を考えるための視点を得る。

【実施日】令和7年9月1日(月) 14:10~16:00(「探究」2時間分)

【講師】弘前圏域移住交流デザイナー 野口 拓郎 氏

【演題】「青森そして日本の人口減少問題に立ち向かう」



【感想】

- ・地域の課題を捉えるためには、多角的に考察する必要があるので、多くの学問に意欲を持って取り組み、広範囲に渡る知識を身に付けることが大切だと感じました。
- ・日本では少子高齢化が問題となっていますが、予想以上に青森県が危機的状況に置かれていることに驚きましたが、祭りによる経済効果が高く、伝統のある祭りを次世代へ繋げていき、より活性化できるよう、努力してく大切さを学びました。
- ・やりたい仕事が県内ではできないので県外に行くと考えていたが、無いなら創るという選択肢もあることに気付くことができました。また、実際に県内で起業し、事業を順調に進めている弘前高校の卒業生がいることに驚きました。
- ・雪国の暮らしや一次産業の大切さ、少子高齢化の問題について、首都圏の方で関心を持ってもらえれば良いなと思いました。
- ・県外に出て初めて気付く青森の魅力があると聞いて、県外に進学し、青森を見つめ直すことも大切だと感じました。
- ・熊本では中高生が起業することが多くなっていて、それはなぜか、青森との違いは何なのかを比較して考えてみる大切だと学ぶことができました。